

リーディングカンパニーのトヨタなどで、派遣切り・雇い止めがなぜ起きてきているのか  
みなさんはこの問題にどうお考えですか？お気軽に参加下さい。

いま注目の  
日本共産党

派遣・請負・期間従業員

大企業は、派遣労働者をもの扱いするな！内部留保をはき出し、派遣切りやめ



働くルールを考える シンポジウム

アメリカ発の金融不況を理由にした「首切り」競争が北勢地区内でも吹き荒れています。

トヨタ車体いなべ、日立金属桑名、NTN桑名、東芝四日市、パナソニック四日市、シャープ亀山などで派遣社員が「派遣切り」となり、多くが「住宅切り」の目にあっています。本田は1700人の期間工の「雇い止め」を発表しました。トヨタグループだけで内部留保は17、4兆円、その0、2%を取り崩せば雇用が守れます。市民のみなさんやこの問題に関心を持っておられる各分野の方々からのご参加をお待ちしています。

日時：2月8日（日）午後2時～4時30分

場所：桑名市民会館大会議室

参加費：無料

パネリスト ○八田ひろ子元参議院議員



- 有識者（要請中）
- 労働界（要請中）
- コーディネーター：中野たけし県党書記長

共催：日本共産党三重県委員会、北勢地区委員会

日本共産党では、雇用・くらしの相談窓口を設けています。お気軽にご相談下さい。会場でも応じます。

連絡先：四日市市新正4丁目21-11      TEL 059-351-8184      FAX 059-353-4395